

USHA JAPAN 第 41 回定例会議事録

開催日時：2023 年 11 月 18 日（土）15:00~16:30

開催場所：Zoom

議長：酒井

書記：苗村

出席者：酒井、神崎、河田、Praksh、
Purushottam 苗村（順不同、敬称略）

1. 報告事項

1) 国内技能実習生の支援について（酒井・パルカス・河田）

国内技能実習生の健康に着目し、1次予防の取り組みとして、健康や受診行動に関する内容をやさしい日本語を用いて説明している動画等、媒体作成を行っていく予定である。集団教育を目的としたデジタル教材を作成するだけでなく、2次予防として、健康に関して不安を抱えている方がいつでも相談ができるネット広場の作成や、対面での相談対応を目指し、プログラムを計画している段階である。3次予防に向けて、積極的な介入が必要であると思われる事例であれば、早急に医療機関につなぐ等、技能実習生のみならず国内に在留する外国人にとって有益な健康に関する情報の発信を目指していく必要がある。

2) 被災地支援活動について（酒井・パルカス）

広報戦略が不十分である現状を打開する為、他サイトを参考にしながら USHAJAPAN の広報活動を積極的にしていく必要がある。活動費や寄付金の収集には、クラウドファンディングで募る選択肢もあるが、優先的には財団の補助金獲得に向けて取り組む予定。HANAMIZUKI 立ち上げ当初からの実績をまとめ、それを強みとしてアプローチすることもいいかもしれない。

現在の寄付金の額では、ネパールの被災地支援は困難であり、方向性としては災害サイクル慢性期における、人身売買蔓延の解決や感染症予防に向けて取り組む予定。現地の情報が入手しづらい為、早急に現地のジャーナリストともやり取りし、新たな近況を発信していけるようにする。

現在入手している被災地情報としては、ホームレスとして過ごす被災者が多く、厳しい寒さで亡くなる方や、慢性疾患を持つ方が避難によって内服不可能となり亡くなる方が多く、支援が急務である。寄付サイト運営会社よりクラウドファンディングに関する情報の発信があった為、アプライできるよう説明会の参加や動画の作成に取り掛かる予定である。

3) SNS について（苗村）

Facebook を「ゆうしゃじゃぱん」で開設した。USHAJAPAN 表記では開設できず、ひらがな表記の開設になったが、ビジネスページは USHAJAPAN で開設できている。Instagram も USHAJAPAN で開設できた為、ネパール地震の被災直後から、被災状況の拡散や寄付金募集の広報を実施した。TikTok はネパールでは禁止になっているため、SNS 拡散時には現地のインストール状況等も踏まえて広報していく必要がある。SNS を拡散してくれる会社があり、報酬に応じて拡散を担ってくれるが、寄付金やサイトの閲覧に繋がるのかどうかは疑問であり検討していく必要がある。

4) ホームページ、寄付サイトの報告（神崎・苗村）

トップページや寄付ページに関して被災状況を掲載し内容を変更した。また、寄付金収集にあたり、ホームページが見つからないという意見があった事を踏まえ、最新のお知らせや活動報告をトップページに掲載し、メンバー紹介のページは別箇所に移動するなど見やすく改変していく予定である。ホームページ編集の内容や費用に関しては発注済であり、早ければ 11 月 20 日にトップページが仕上がる予定である。

寄付に関する質問も多く、ホームページ上の「よくある質問」の充実を図り、不明な点をなくしていくようにしていく。（寄付に関する領収書の発行や寄付の用途の指定は可能か、等）。

2. 審議事項携帯電話によるホームページ画面の改修について（神崎）

携帯電話で USHAJAPAN ホームページを閲覧する際、メニューボタンが非常にわかりづらく気づきにくいという意見もあり、メニューバーの色を変更したり、「メニュー」と記載しわかりやすく明記をしたり等の配慮が必要である。

以上

次回定例会予定 2023 年 12 月 16 日 15 : 00～